

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	板倉町命を守るまちづくり												
計画の期間	令和03年度 ～ 令和04年度（2年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	板倉町												
計画の目標	本町は、南側を利根川左岸、北側を渡良瀬川右岸、東側を渡良瀬遊水地に接しており、町内のほぼ全域が浸水想定区域となっている。 調査の結果、河川の氾濫が予想される場合に個人で町外の非浸水区域へ避難する広域避難が可能な人数が5,960人（調査時人口14,320人の42％）、非浸水区域及び想定浸水深よりも上階への在宅避難可能人数900人（6％）であった。残る52％について避難場所が必要であるが、洪水時指定緊急避難場所（町内施設）の収容想定人数が現在4,480人（31％）であるため、残る2,980人分（21％）の車中避難可能な緊急避難場所を整備し、併せて緊急避難場所に避難する自動車等が、安全に迅速な避難ができるように避難路を整備することにより、災害時の安全な避難を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	361	A	361	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R3末)	(R4末)
1	人口に対する洪水時緊急避難場所の収容人数割合を増加する。 事業実施状況をもとに算出する。 （洪水時緊急避難場所収容人数）／（人口）	31％	31％	52％
2	避難路延長に対する車道幅員4.5m以上の整備率を向上する。 事業実施状況をもとに算出する。 （車道幅員4.5m以上の避難路延長）／（避難路延長）	13％	13％	67％

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	板倉町	直接	板倉町	－	－	地区公共施設等整備(板倉地区)	緊急避難場所整備2か所	板倉町	■	■				288		－
	A13-002	都市防災	一般	板倉町	直接	板倉町	－	－	地区公共施設等整備(板倉地区)	避難路整備4路線	板倉町		■				73		－
											小計						361		
											合計						361		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
板倉町都市建設課にて事後評価を実施。	令和6年11月
	公表の方法
	町ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	定量的指標の定義及び算定式として設定した一時避難所になる施設について、予定どおりの整備を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後は適切な維持管理を実施していくとともに、町と地域の自主防災組織等とで連携した防災訓練等に取り組んで行く。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	52%	
	最 終 実績値	52%	
2			
	最 終 目標値	67%	
	最 終 実績値	67%	